

網干総合車両所構内で発生した架線トラブルの原因と対策について

2022年10月8日、網干総合車両所構内での架線トラブルにより列車の遅れを発生させた事象について、原因が判明しましたので当面の対策と合わせてお知らせします。

ご利用のお客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1. 発生日時

2022年10月8日（土） 21時25分頃

2. 場 所

山陽本線 網干総合車両所 構内

※網干駅に隣接する車両の検査・修繕を担当する部署

3. 概 況

21時25分頃、大阪指令所の指令員は、モニタ画面にて網干総合車両所構内での停電を認め、網干総合車両所内に入り出る電車の運転を順次運転を見合わせました。また、22時42分頃、西明石～網干駅間でも順次運転を見合わせましたが、0時52分に順次運転を再開しました。

※網干総合車両所内に入り出る電車の運転についても0時52分に運転を再開しました。

4. 列車影響

<運 休>計2本（上下各1本）部分運休

<遅 れ>下り快速電車[米原（17：57）発 網干（21：42）行]が217分遅れたのを最大に、計20本（上り1本、下り19本）に217～77分の遅れ

※上記遅れの時分は、JR京都線千里丘駅構内でのお客様と接触の影響に伴う遅れ（折り返し遅れ）を含みます。

<影響人員>約9,500人

5. 原 因

網干総合車両所構内の屋根がある車両洗浄装置内に設備している架線が、車両洗浄に使用する洗剤等の影響を受け、腐食が進行し断線したためです。

6. 対 策

- ・屋根がある車両洗浄装置内の架線については、腐食が進行しやすいことから、特段の注意を払い検査を実施します。
- ・屋根がある車両洗浄装置内の架線を、耐久性に優れた材質に変更します。